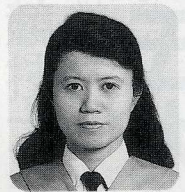


日本での教員研修

学校教育学部
教員研修留学生

◆ スカンヤー・スワンナキン



PROFILE

私は、一九六一年にタイのバンコクで生まれました。大学院の修士課程で教育の学位を授与され、これまで十一年間タイの工芸大学で働いています。私は、現在学校教育学部で学ぶほか、公民館でタイ語講座の手伝いをしたり、日本のお母さんたちから日本の民謡や新舞踊を習ったりしています。

良さを学んだように思います。この十の良さを大切にしてください。日本の社会は進歩してきたのだと思います。

また、今日の日本の発展には家庭、教育(学校)、社会の三者の強いつながりがあったことも学びました。

家庭は一番身近で、一番小さい社会ですが、両親は子どもたちに先の十の良さを教えながら育てています。また、学校に入れば、先生がたは勉強を教えて将来の社会生活のための知識を与えています。

この家庭、教育、社会の三者がそれぞれ良さをもち、相互にかかわってきたことも、日本の教育と工業の前進に係あると思います。

第二次世界大戦で日本は負けましたが、約五十年の間に日本は早く良い状態を取り戻し、今では教育と工業のリーダーの国になっています。

この教育・文化や工業技術を学ぶために、今、たくさん留学生が勉強したり、働くために日本にやってきていますが、いつまでも私たちにとっての良い見本であってほしいと思います。

はじめての日本

私は一昨年十月から、教員研修留学生として学校教育学部で勉強しています。はじめは不自由な日本語と



民謡や新舞踊と一緒に練習しているお母さん方と

初めての外国でも不安でしたが、学生チューターや日本語研修のおかげでたくさん勉強することができました。学生チューターは、私にとって一番親しい日本の友だちの一人です。彼は東広島に着いた時から、書類の提出や案内など、私のために大変多くの援助をしてくれ、大変助かりました。私が日本の生活に慣れることができたのは彼のおかげです。

日本語研修は、韓国、中国、インドネシア、フィリピンの人たちと一緒にでしたが、私も一人のタイ人、フィリピン人は日本語がほとんど話せざ大変でした。それでも九時四十五分から午後四時三十分まで文法、語彙、読み方、書き方、聞くこと、話すことを

勉強し、最後には日本語を話せるようになりました。特にコンピュータで漢字の書き方を勉強する方法は、字を早く覚えるのによかったと思います。

日本での学習

日本の文化や歴史、社会と教育や家庭の在り方についても多く学びました。各種の学校や文化施設なども見学したり、ホームステイもしましたが、その中で幼稚園と養護学校の先生方の責任感と忍耐強さに感心しました。

私は現在、「タイと日本における大学政策の比較研究」についてまとめています。この専門に関して、教育行政を中心に学校教育学部や大

日本で学んだこと

一 家庭、教育、社会

学教育研究センターで指導を受けています。日本語での授業の内容を全部理解することは難しいのですが、英語で書かれたものを探して勉強を補っています。

日本は、私をはじめ訪問した外国です。最初の日から今日まで、私は多くの貴重なことがらを見出し、日本の教育や教育行政について学びました。なかでも、①訓練すること ②時間通りであること ③忠節であること ④誠実であること ⑤チームワークの強さ ⑥強い責任感 ⑦リーダーシップ ⑧国民意識 ⑨清潔さ ⑩美しさの十の

「クラブ」
「KARAP」
「KHA」
「SAWATDII」
「今日」